

協働実践研究会・愛媛支部 第1回研究会報告

I. 実施日 2014年10月17日 16:30~18:00 (愛媛大学ミュージズ2階 学習支援室2)

II. 出席者 10名 (愛媛大学日本語専任・非常勤教員、えひめJASL会員)

III. 内容

1. 自己紹介 (今のコンディションや自分と協働学習の接点なども)

2. 研究会実施頻度 月1回 第三金曜日 16:30~18:00 に決定

3. 昨年の夏 (8月26日~30日の5日間) に行った集中勉強会について報告

『ピア・ラーニング入門—創造的な学びのデザインのために』(池田玲子・館岡洋子著)を1日に1章ずつ読んで、EQ法(EQトーク)で、話し合った。「!大事」と思うことや「?疑問」に思うことについて真剣に議論した。

他に、実際に授業でピア・リスponsを行なった実践報告や、メンバーが体験した「参加型学習」(武蔵野市)の事例報告もあった。

*EQトークとは:テキストを読んで、「いいね」「共感する」「大事」だと思ったところに「!」を、「疑問」「反論」「もっと知りたい」と思ったところに「Q」を書き入れる。「!」「?」のマークが書かれたところを共有しながら議論を進めていく方法。

4. 勉強会の進め方について

『ピア・ラーニング入門—創造的な学びのデザインのために』(池田玲子・館岡洋子著)を自分の授業との関わりや取り入れ方を意識しながら読み進める。うまく進まないようだったらやり方を検討する。

それぞれが行っている授業内容を全員で共有して、その問題点や改善したい点などについて協働学習の視点から話し合うのはどうかという意見もあったが、協働学習の知識がゼロの人がいる場合、それは難しいということになり、最初は「協働学習」の概念の把握から始める必要があるという結論になった。

5. 2回目の研究会について

実施日 11月21日 午後4時半~6時

内容 ① 「協働学習」のイメージ共有のため、「協働学習」について思っていること・知っていること・実践しているなどを話し合う。

② 『ピア・ラーニング入門—創造的な学びのデザインのために』の1章を読んで来て、話し合う。

6. 勉強会で話したいことや知りたいことなど

知りたい点:

- ・教師間に教育観の違いがある場合
- ・学習者のレベルによるやり方の違い
- ・学習者のニーズや受け止め方
- ・誤りを訂正しないことと上達との関係
- ・地域のクラス、大学のクラスでできることなど

希望:

- ・実践者(夏の集中勉強会に出席した人)の話を知りたい など